



第2号 ちょっと気になる検査データ あなたの血圧は大丈夫？

ほっておくと危険な高血圧

高血圧をそのままにしておくと動脈硬化が進行します。カチカチになった動脈の内腔は狭くもろくなり、血液の流れが悪くなります。その結果、**脳血管疾患**(脳出血、脳梗塞)・**心疾患**(狭心症、心筋梗塞)・**腎疾患**(腎硬化症、腎不全)など、さまざまな合併症を引き起こします。

どこから高血圧？

家庭血圧計で収縮期血圧**135**mmHg以上 または 拡張期血圧**85**mmHg以上が高血圧診断の目安とされています。 ※日本高血圧学会 高血圧治療ガイドライン2014より

高血圧と言われたらどんな検査をするの？

▶一般的な検査

問診や肥満度の測定、血液検査、尿検査、心電図検査、眼底検査、胸部X線検査などが行われます。これは高血圧の原因がどこにあるか、他に合併症はないかを調べるのが目的です。

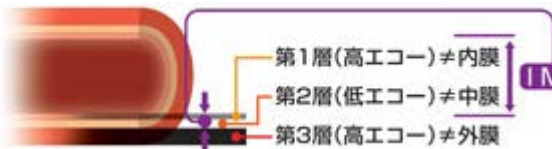
▶精密検査

特に原因が見られなかったり、合併症がない場合(**本態性高血圧**)、そのまま生活習慣改善や薬による高血圧の治療へと進みます。

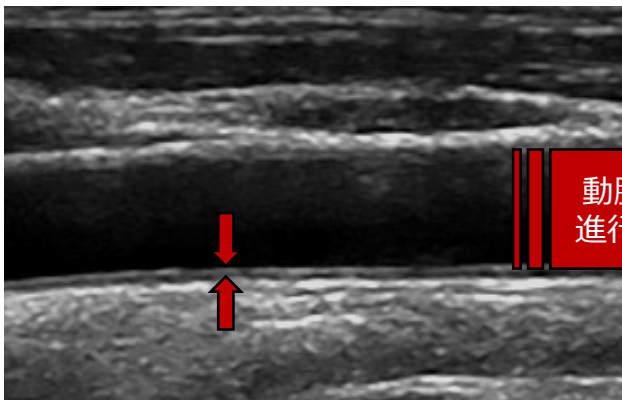
原因がどこかがあると疑われたり、合併症がある場合(**二次性高血圧**)、超音波検査、CT、MRIなどより詳しい検査へと進みます。血液検査や尿検査も、一般的な検査とはまた違った成分を調べます。

検査解説 * 頸動脈超音波検査 *

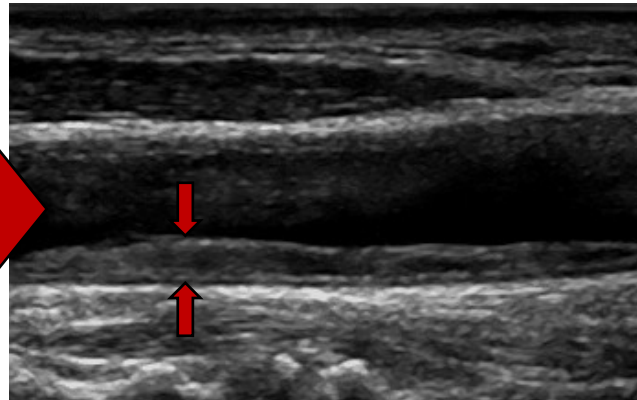
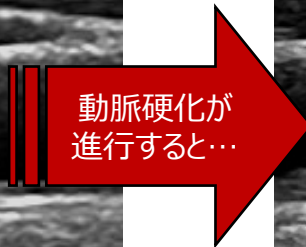
当院では動脈硬化の評価の一つとして、頸動脈超音波検査を行っています。動脈の代表として頸動脈を検査することで、全身の動脈硬化の程度を把握することができます。検査は簡便で痛みや被曝はなく、血管壁の厚さやつまり具合を視覚的に評価します。



血管壁の第1層と第2層を内中膜複合体(IMC)と呼び、その厚さを計測します。IMCの厚さが1.1mmを超えると動脈硬化が示唆されます。



IMC 0.5mm



IMC 2.8mm

高血圧は放置してはならない怖い病気です。
健康診断や家庭での血圧測定で「血圧が高め」と分かったら早めに受診しましょう！